

## 平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業計画概要

ESD 活動支援センター（以下、「全国センター」）は、持続可能な社会の実現に向け、ESD に関わる多様な主体が、地域での取組を核としつつ、様々なレベルで分野横断的に協働・連携して ESD をより効果的に推進する ESD 推進ネットワークの全国的なハブ機能を担うべく、平成 28 年 4 月に関係省庁により、官民協働のプラットフォームとして東京都渋谷区に開設された。全国センターは、地方 ESD 活動支援センター（以下、「地方センター」）、地域 ESD 活動推進拠点（以下、「地域 ESD 拠点」）と連携して、地域レベル、広域レベル、全国レベルといった重層的なネットワークを形成し、多様な分野の多様な主体の間に、情報共有と学び合い、連携・協働を進め、学校や地域、職場等における ESD を広げる支援、深める支援に取り組んでいく。

平成 28 年度は、ESD 推進ネットワークにおける全国センターの役割に沿って、主に情報発信とネットワーク形成の基盤整備に取り組んできた。（表 1）

平成 29 年度は全国 8 ブロックにおいて、7 月を目途に 8 つの地方センターが開設される。また、地方センターによって地域 ESD 拠点の形成が開始されることになり、ネットワークの体制が本格的に整い始める。全国センターはこれらの動きを支え、地方センターと連携・協力し、ESD 推進ネットワークを発展させるために諸事業（表 2）を実施することとし、特に、以下の重点事業に取り組む。

### 平成 29 年度重点事業

#### 1. 地方センターとの連携・協力体制の形成

- 地方センターの開設及び地方センターによる地域 ESD 拠点の創出・形成のための基盤をつくる。（地方センターのウェブサイト、登録の仕組み等）
- 地方センターと協力してネットワーク形成を円滑かつ効果的に進めるため、ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会を開催する。

#### 2. 全国レベルの組織・団体との協力関係の強化に向けた場づくり

- ESD の推進に関心を持つ全国レベルの組織・団体（協力団体）との協力関係を強化するため、ESD の最新動向や取組の共有、連携・協働の可能性の検討に向けた意見交換を行う。

なお、全国センターが業務を行うに当たっては、以下の点に配慮する。

- (1) 地方におけるネットワーク形成は、地域 ESD 拠点の活動が活性化することを第一優先とし、地方センターが地域の特性等に配慮して決定するネットワークの形成プロセスや支援方法を尊重する。
- (2) 全国センターはネットワーク形成において、全国で共通して取り組む必要がある事項を整理・提供するとともに、地方センターでは担えない支援を行う。
- (3) 全国センターが担うべき主な役割は以下の 3 点
  - ① 環境・開発・人権・平和・防災・消費・文化等の多様なテーマにおいて、全国レベルで ESD を推進する組織・団体と協力・連携関係の構築に取り組む。
  - ② ESD を推進する人や組織、プログラム等を、広域ブロックを越えて紹介する。
  - ③ 国際機関や海外の先進地域の情報を提供する等により、ESD に関する国際的な活動をつなぐ。

さらに全国センターは、ESD を推進する全国レベルの協力組織・団体等並びに地域 ESD 拠点のニーズを踏まえ、ESD を推進するための施策の企画提案や事業の企画・実施等を行う。

【表 1】平成 28 年度事業一覧（全国センターの役割と機能による整理）

	多様なテーマをつなぐ	地域をこえてつなぐ	国際的な情報をつなぐ
情報の収集・発信	●相談窓口 ●パンフレット ●ウェブサイト・SNS ●活動レポート 2016		
	●エコライフ・フェア、グリーンチャレンジデーにおける ESD ブースを企画・運営 ●協力団体発行のニュースレター等への寄稿		●国際フォーラム（ユネスコ/日本 ESD 賞海外受賞者の実践に学ぶ）
支援体制の整備	●ESD 活動支援企画運営委員会		
	●全国レベルのネットワークに係る可視化ツール・活用ガイドの開発	●地方センター設置準備のための意見交換会 ●講師派遣 ●関係者定例打合せ事務局 ●地方における ESD 関係団体リスト作成	
学び合いの促進 ネットワーク形成	●ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2016		
	●地域 ESD 拠点の形成支援（ESD 催事への共催、後援、職員派遣） ●協力団体開催の ESD 関連セミナー、研修等での講演、講師派遣		
	●オープニング式典 ●可視化ツールの開発 ●全国レベルのネットワーク団体、関係省庁への協力依頼		
人材育成		●若者世代による情報発信	

【表 2】平成 29 年度事業一覧（全国センターの役割と機能による整理）

★は平成 29 年度新規業務

	多様なテーマをつなぐ	地域をこえてつなぐ	国際的な情報をつなぐ
情報の取集・発信	●相談窓口 ●パンフレット ●ウェブサイト・SNS ●活動レポート 2017		
支援体制の整備	●企画運営委員会 ●可視化ツールの地方への展開検討		
		●ESD 活動支援センター（全国・地方） 連絡会 ●職員派遣 ●関係者定例打合せ事務局 ★地域 ESD 拠点登録業務 ★地域 ESD 拠点年次アンケート作成	
学び合いの促進 ネットワーク形成	●ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017		
	●地域 ESD 拠点の形成支援（ESD 催事への共催、後援、職員派遣） ●協力団体開催の ESD 関連セミナー、研修等での講演、講師派遣		
	★ESD に関心を持つ全国組織との協 力関係強化のため意見交換の機会 の創出		
人材育成		●若者世代による情報発信 ★ユースの人材育成事業に関する取組 の検討	

## 1. 相談窓口設置

ESD 活動実践者・実践団体等の、訪問、電話、メールでの相談や講師紹介を含む支援の要請に対し、対応する。ウェブサイトにも問い合わせ書式を用意する。

必要に応じて地方環境パートナーシップオフィス（EPO）、また、地方センター設立後は、地方センターと連携して対応する。

月曜日から金曜日の 10 時から 18 時までを相談・支援の窓口として開設する。

（土・日・祝日、12 月 29 日から 1 月 3 日は閉館）

## 2. ESD 活動支援企画運営委員会

学識経験者、自治体、NGO/NPO、企業、教育機関等の ESD 関係者 15 名程度からなる ESD 活動支援企画運営委員会（以下、「企画運営委員会」）の事務局を務める。

- 第 1 回企画運営委員会（5 月～6 月予定）  
議題案：地方センター設置準備状況共有、平成 28 年度事業評価  
平成 29 年度主要企画への助言（ESD 推進ネットワーク全国フォーラム等）等
- 第 2 回企画運営委員会（1 月～2 月予定）  
議題案：地方センター及び地域 ESD 拠点活動状況共有、次年度事業計画概要案への指導・助言

## 3. ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会（以下、「センター連絡会」）

平成 29 年 7 月を目途に開設される地方センター（設置前は EPO）との実務上の連絡調整及び ESD 推進ネットワーク全体に関わる必要事項の ESD 活動支援センター（全国・地方）案を決定する場として設定する。

- 第 1 回センター連絡会（4 月～5 月予定）  
議題案：地方センター設置準備状況共有、地域 ESD 拠点関係（地域 ESD 拠点年次アンケート、手続等）、年間日程調整（ESD 推進ネットワーク全国フォーラム含む）等
- 第 2 回センター連絡会（10 月頃予定）  
議題案：地方センター設置準備及び活動状況共有、地域 ESD 拠点関係（地域 ESD 拠点年次アンケート、手続等）、次年度事業計画の方向性等
- 第 3 回センター連絡会（1 月～2 月頃予定）  
議題案：地方センター活動状況共有、地域 ESD 拠点形成状況共有、次年度事業案計画概要等

## 4. 情報収集・発信

ESD 活動実践者等に対し、国内外の ESD 活動に関する情報を収集し発信する。

### (1) リーフレット制作

平成 28 年度に作成したパンフレットを地方センター設置等の情報を加えて改訂し印刷する（40,000 部）。

リーフレットは、全国センターが活用するとともに、地方センターが主要なステークホルダーに配布するために、各地方センターに送付する。地方センターには必要に応じて印刷用のデータを提供する。

## (2) ウェブサイト

### ① 全国センターウェブサイト

全国レベルのネットワーク組織や関係省庁の関連組織等の協力を得て、ESD の実践や推進に役立つ情報の収集と発信を行う。

- 新着情報（運用継続）
- ESD 活動支援センターとは（更新）
- 公募情報（アワード・表彰、研修・交流）（運用継続）
- 公募情報（助成金等）（新規）
- #（ハッシュタグ）ESD ワカモノ（運用継続）
- 海外の動き（新規）
- 教材・資料（新規：既存の教材データベースへのリンク集）
- 地方センターページ（新規）
- 地域 ESD 拠点ページ（新規）

### ② SNS

平成 28 年度に開設した、Facebook、twitter の運用を継続する。

## (3) 若者世代による情報発信

ESD のユースへの普及と、ユースのエンパワメントを目的として平成 28 年度に公募し採択した社会人ユース ESD レポーターによる活動を継続する。レポーターは自分の地域における ESD の取組に触れ、自らの視点で地域の ESD について執筆したレポートをセンターのウェブサイト「#ESD ワカモノ」で発信する。

## 5. ESD 推進ネットワーク構築

### (1) ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下、「全国フォーラム」）は、原則毎年 1 回、ネットワークの主たるステークホルダーが一堂に集い、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、ネットワークが成長するための機会として開催する。

- 目的  
ESD 推進ネットワーク及び ESD 活動支援センター（全国・地方）の理解を広めるとともに、分野、セクターを越えて多様な主体が連携・協働して ESD を推進（質的向上・量的拡大）するために、お互いに面識をつくり／深めあい、実践例を基に学び合い ESD 推進の方策について意見交換を行い、協働の機会をつくることを目的とする。
- 参加者 ESD 推進者を中心に 150 名程度
- 日時 11 月 24 日（金）、11 月 25 日（土）2 日間（予定）
- 会場 東京都内（予定）
- 内容 グループディスカッションを含み、以下のセッションを設ける。
  - ・ ESD 推進ネットワークの理解を深めるためのセッション
  - ・ 全国各地の実践例を基に学び合いを可能とするセッション
  - ・ ネットワークを促進する意見交換及びネットワーク機会となるセッション
  - ・ ESD 推進の方法についての情報と意見交換のためのセッション、等
- 現場視察プログラム 開催前日（木）にあらかじめ登録した希望者を対象に現場視察プログラムを実施することを検討する。

## (2) 地域 ESD 拠点の形成支援

### ① 共催・後援・職員派遣

全国各地で開催される ESD 関連催事について、催事を共催または後援等することにより、それらの催事に参加し ESD 活動支援センター（全国・地方）及び ESD 推進ネットワークの存在及び全国センター、地方センターが行う支援内容等の周知に努める。

### ② 地域 ESD 拠点登録業務

ESD 活動支援センター（全国・地方）と連携して各地の ESD の質的向上、量的拡大を牽引する組織・団体を地域 ESD 拠点としてリストに登録する手続きを、地方センターと連携して行う。

### ③ 地域 ESD 拠点への年次アンケートの作成

ESD 推進ネットワークの推進にいかすため、リストに掲載された全ての地域 ESD 拠点を対象とする年次アンケート調査票を作成する。

年次アンケートの内容（案）

- 登録情報の更新に関すること
- 当該年度の支援実績に関すること
- 全国センター・地方センターへの要望
- その他

## (3) ESD 推進ネットワーク形成に係る可視化ツール

平成 28 年度から平成 31 年度までの ESD 推進ネットワークの形成を「可視化」するための参加型ツール（以下、「可視化ツール」）を作成し、運用する。

平成 28 年度にネットワーク可視化タスクフォース（以下、「可視化 TF」）によって作成された全国レベルのネットワークのための可視化ツールについて、運用結果の取りまとめを行うとともに、地方センター、地域 ESD 拠点を念頭においた広域ブロックでの活用について可視化 TF による検討を行う。

## 6. 年次報告書

ESD 活動支援センターの平成 29 年度の活動をまとめた年次報告書（活動レポート）を作成し、ESD 推進ネットワークの形成に資するために配布する。

## 7. 活動の更なる発展に向けた取組

### (1) 全国レベルの組織・団体との協力関係の具体化に向けた場づくり

ESD の推進に関心を持つ全国レベルの組織・団体（協力団体）との協力関係を強化するため、ESD の最新動向や参加団体の取組の共有、連携・協働の可能性検討に向けた意見交換を行う。

### (2) ユースの人材育成事業等に関する取組の検討

現在多様な主体により実施されている ESD 分野におけるユースの育成事業の現状を関係者と共有し、ユースへの取組の全体像を描き、今後必要となる取組を検討し、その実施に向けた準備活動を行う。